

# 「アンケート関わってどうなる」

## 「切手は後援会の会報に使った」

### 証言で委百条の青山氏購入の切手

平成23～25年度に議員が政務活動費で大量購入した切手がアンケート調査に使用されたのか調査する市川市議会の特別委員会（百条委員会）は12日と13日、松永鉄兵市議と青山博一市議の証人尋問をそれぞれ行った。13日に証人として出席した青山氏は「切手は購入したが、アンケートには一切関わっていない。アンケート用紙も見ただことは無い」と証言。切手購入の経緯については「小泉（文人）市議に『切手を買って換金すればいい。みんなやっている』と言われた」と説明した。政務活動費の手引には、個人や後援会の会報に政務活動費は使えないことが明記されているが、青山氏は「切手は後援会の会報送付に使った。当時は政務活動費を熟知しておらず、そのように使っていた」という認識だった。深く反省している」と述べた。

青山氏は同24年度に政務活動費で切手を12万円分購入。小泉氏と鈴木啓一元市議が実施したとされるアンケートの回答用ハガキの見本でも返信先や実施者の一人になっていた。青山氏の証言によると、切手を購入して議事事務局に領収書を提出したところ、発送物の提出を求められたため小泉氏に伝えたとい

料と全く同じ。アンケートの返信先は「市川市議会 会派・緑風会」になっていたが、当時の議会事務局の職員や緑風会所属議員にアンケート用紙を見たと言っている人はおらず、集計者がアンケート用紙を入手した経緯は謎に包まれている。青山氏は「私はパソコンも使えないし集計もできない。小泉氏が提出したと思う」と述べた。また、10月の証人尋問で小泉氏は「青山氏も（一緒に）アンケートをやる話だったが、やらないことになったの

で青山氏に（切手代の）実費24万円を渡した」と証言していたが、青山氏は「アンケートについては一切知らなかった。24万円も受け取っていない」と否定。「小泉氏から『先輩の分です』と15万円を預かったことはある。何のお金か聞かなかったが、切手代と一緒に返した」とも述べた。一方、12日に証人尋問が行われた松永氏は、平成24年度に行つたとするアンケート1回分の印刷費で、小泉氏が取締役を務める有限会社「クアン」の領収書を市議会事務局に提出していたが、10月の同委員会では小泉氏が、同社は休眠状態で印刷は別の会社がしていたと証言していた。

同社の取締役であることや、同社が休眠状態で実際の印刷をしていたことは「知らなかった」と証言。梱包されたアンケート用紙の形状や大きさ、支払いの場所や日時など詳細は「記憶していない」と述べた。なお、同委員会には9日、小泉氏と鈴木氏にアンケート用紙を実際に印刷したとする会社から、アンケート用紙の領収書と納品書の控えのコピーが提出された。もともと提出されていたクアンの領収書は小泉氏自身が発行したもので、同社は実際に印刷をしていないため、両氏がアンケート用紙を印刷した証拠は不明となっていた。また同委員会は13日、松永氏が平成24年度と同25年度に実施したとされるアンケートに関する調査項目に加える決議案を賛成多数で可決した。本会議で可決されると調査項目に加わる。現在は、平成23～25年度に小泉氏と鈴木氏が実施したとされるアンケートが調査項目。

証人尋問で松永氏は「日々の話で小泉氏がよく使っている会社がある」と知り、小泉氏に依頼した」と、クアンに印刷を発注した経緯を説明。見積書や納品書、請求書は受け取っておらず、発注や納品、支払いなど、やり取りの相手は全て小泉氏だったという。小泉氏が

また同委員会は13日、松永氏が平成24年度と同25年度に実施したとされるアンケートに関する調査項目に加える決議案を賛成多数で可決した。本会議で可決されると調査項目に加わる。現在は、平成23～25年度に小泉氏と鈴木氏が実施したとされるアンケートが調査項目。